

アルプスロータリースイッチ



Y-201



Y-100



M-43



M-62

アルプス・ロータリースイッチ市販製品一覧表

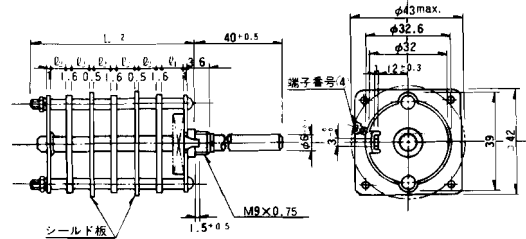
形式番号	段数	接点数	回路構成*	シールド	l_1	l_2	L	小売価格
Y-701	1	12	A		9		21	370
Y-801	2	12	A		9	5	27	550
Y-901	3	12	A		9	5	35	750
Y-100	1	5	E		9		21	370
Y-101	1	3	F		9		21	370
Y-102	1	2	B		9		21	370
Y-104	1	4	I		9		21	330
Y-105	1	3	J		9		21	520
Y-107	1	4 (E)			9		21	370
Y-201	2	5	E		9	5	27	550
Y-202	2	3	F		9	5	27	550
Y-204	2	6	LH		9	5	27	550
Y-205	2	4 (E)			9	5	27	550
Y-206	2	2	B		9	5	27	550
Y-300	3	3	F	2	9	5	51	750
Y-306	3	5	E		9	5	33	750

*回路構成は回路構成図が裏面に示してありますのでご参照下さい。

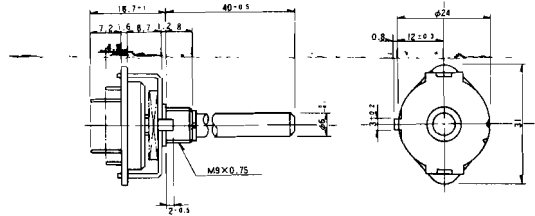
形式番号	段数	全回路数	接点数	小売価格
M-1C	1	1	12	280
M-25	1	2	5	280
M-26	1	2	6	280
M-34	1	3	4	280
M-43	1	4	3	280
M-62	1	4	2	280

アルプス・ロータリースイッチ外形寸法図

Y形



M形



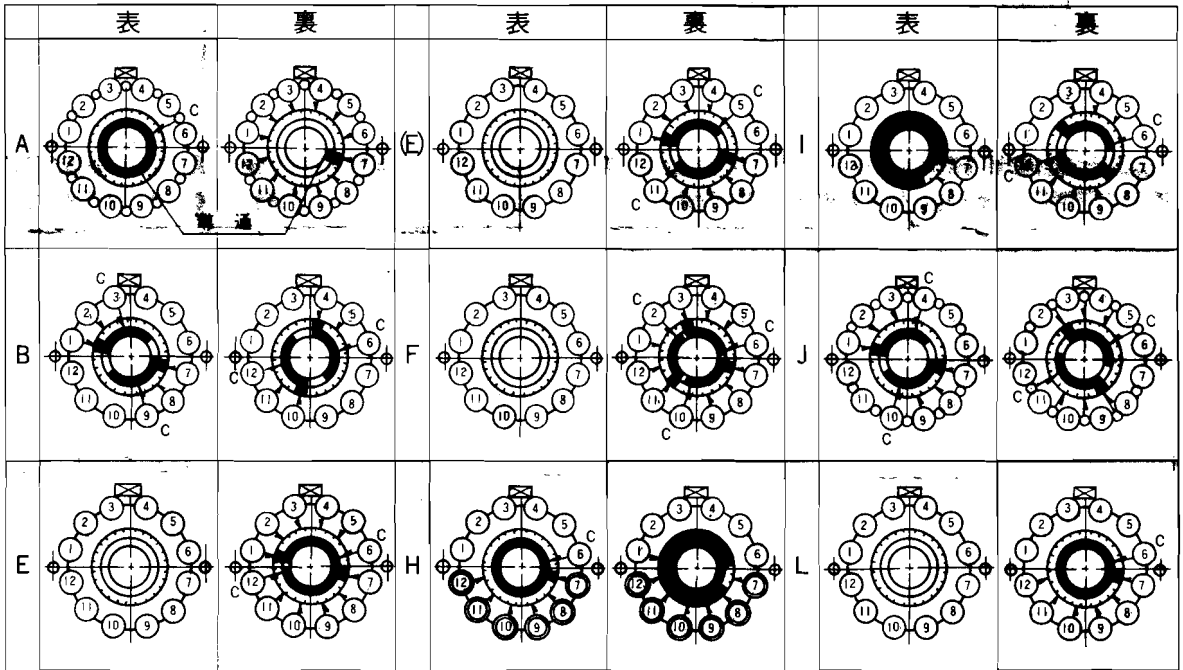
(ご注意)

Y-701 Y-801 Y-901およびY-107の切換タイミングはノンショータングタイプです。その他の機種はショータングタイプとなっております。

アルプス・ロータリースイッチ規格

シリーズ	支柱間隔	規格						
		定 格	回転トルク (kg・cm)	接触抵抗	絶縁抵抗	耐電圧	特 殊 試 験	
							耐 湿 性	耐 久 性
Y	32	DC 30V 0.5A	1段1.4±0.7 2段1.5±0.7 3段1.6±0.7	15mΩ以下	500MΩ以上	AC 500V (50または60Hz)	温度40±2℃湿度90~95% 48時間放置 30分後に測定	無負荷で10,000サイクル (15~20Hz) 動作後測定
M	26	DC 30V 0.25A	0.8±0.3	20mΩ以下	100MΩ以上	"	"	" 40mΩ "

回路構成図



※アルプス・ロータリースイッチのご使用上の注意

1. ハンダ付け：クリップに配線を施す際のハンダ付けについてはあらかじめハンダ上げをしておいて短時間に行なって下さい。そうしないとクリップが薄い金属で、絞めてある黄銅リベットと熱膨張係数が異なるため緩みを生じて、クリップにガタを生じ、接触不安定の原因となります。
2. 配線：ロータリースイッチは集団スイッチですから配線をされる際はあらかじめ良く順序を考えて、前もってクリップに配線して置かねばならない所は忘れないようにして下さい。スイッチを取付けてしまつて、狭い所にあとからハンダごてを入れたり、誤配線を繰返すのがスイッチを痛める一番大きな原因のようです。
3. スイッチと他の部品の関係：バンド切換に使用されるときはコイル、バリコンとの関係位置が浮遊容量の大小に大いに関係しますので最も適当な寸法を持ったスイッチを選

- ひかつ各部品との関係位置を慎重に決定して下さい。
4. スイッチの分解：相当熟練者でない限りスイッチの分解は避けて下さい。何らかの衝撃でクリップを変形させた時は錐の先を一部90°に折曲げたようなもので慎重に再調整すれば直りますがクリップが良質の燐青銅板で相当の弾性を持っていることを忘れないで下さい。
5. 長尺のスイッチ使用の際は：長いスイッチをシャーシーに取付ける時は振れないよう締め方に充分ご注意下さい。

市販製品以外の特殊品ご注文上のお願ひ

製品仕様について下記の点をご明記下さるようお願い致します。

1. 段数, 2. 全回路数(各段の回路数), 3. 接点数, 4. 短絡回路の有無, 5. シールド板の取付位置枚数,
 6. シャーシー裏面より出る長さ, 7. 各段の間隙, 8. 接点の位置と切換方向, 9. 支柱および取付脚の長さ
- 上記項目の外にはなるべく略図を添えて下さい。